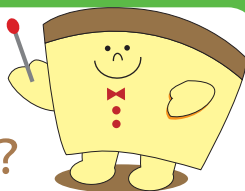


地域からはじめよう！ 環境出前講座を開催しませんか？



「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望がございましたら、各地域の推進員に出前講座の開催を依頼することができます。楽しい環境教材に、子どもたちも大喜び！みなさんも環境講座を開いてみませんか？

主婦向け 家庭でできる省エネ講座

エアコンやテレビ、冷蔵庫など、講座を受けてすぐに実践できる省エネ講座。家計の節約にもなりますよ。

子ども向け 環境ゲームでエコまなぼ

ちょっぴり難しい省エネも、ゲームを通して楽しく学べます。省エネは子どもたちから率先してする時代へ。

無料



▲主婦向け講座



▲子ども向け講座

実践編 廃キャンドルづくり

廃ろうそくを再利用して、オリジナルキャンドルをつくる講座。キャンドルを使用して、部屋の電気を消そう。

その他にも、様々なテーマに対応した講座が実施可能。

出前講座開催までの流れ

- 1 出前講座開催申込み**
センターのホームページ (<http://nccca.jp>) より申込用紙がダウンロードできます。実施予定日の **1 か月前**までに申込書をセンターへ提出して下さい。
- 2 センターから各推進員へ連絡・調整**
・講師料／**無料**
(講座に必要な材料等を用意していただく場合がございます。)
・学習会の時間／原則午前10時～午後5時までの間90分以内
*曜日、時間等とはご相談ください。諸事情によりご希望に添えない場合がございますが、予めご了承ください。
- 3 出前講座受付確定と実施**
出前講座申込み者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺います。

開催場所は
県内に
限ります！

5人以上なら
少人数でも
開催可能！

ご不明な点は
センターへ
095-820-4868

エコなが通信

発行月 / 平成 25 年 3 月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県未来環境推進課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566

エコ なが

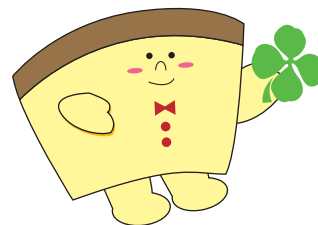
通 信

温暖化防止かわら版
<http://nccca.jp>

第19号

CO₂を排出削減、吸収して環境保全！
国内クレジット制度 &
オフセット・クレジット
(J-VER 制度)

今どき！
省エネ家電の紹介



エコなが通信

温暖化防止かわら版
http://nccca.jp

発行月／平成 25年3月

編集／長崎県地球温暖化
防止活動推進センター

発行／長崎県未来環境推進課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13

TEL / 095-895-2512

FAX / 095-895-2566

「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」、「活動支援」、「調査」などを行っており、その一環として、「エコなが通信」で情報を発信しています。

CONTENTS

02 p 長崎県地球温暖化防止活動 推進員紹介

CO₂ を排出削減、吸収して環境保全！

03 p 国内クレジットと オフセット・クレジット制度(J-VER 制度)

07 p 今どき！省エネ家電の紹介

08 p 地産地消のエネルギーを見つめよう！ ながさき省エネコンソーシアム 対馬大会の報告

09 p 平成 24 年度 夏の ながさき節電コンテスト結果報告

なにこれワード

クールシェア cool share

一人で一台のエアコンを使わず、一つの部屋に家族が集まったり、公共の施設へ出かけるなどして電力の無駄使いを減らそうとする取り組みのこと。



クールは涼しい、シェアは共有ってこと。涼しい場所をみんなでも共有しよう！ってことだよ。

カーボンオフセット carbon offset

ある場所で、やむを得ず排出した二酸化炭素などの温室効果ガスを、別のところで吸収あるいは削減して、排出に見合った分の埋め合わせをしようという考え方。

カーボンは二酸化炭素 (CO₂)、オフセットは相殺するということ。



CSR corporate social responsibility の略

企業の社会的責任。企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、自発的活動として、持続可能な社会を消費者とともに築いていく活動。



長崎県地球温暖化防止活動

推進員紹介

長崎県には、90名の推進員が活動しています。
地域で活躍する推進員を紹介します。

県北地区推進員(平戸市) 山崎 省三さん

Yamasaki Shouzou



▲昆虫自然園のガイドも担当

省エネは自ら、家庭から

週に4日、公民館に勤務されている山崎さんは、機会あるごとに老人会の皆さんや地域の小学生達に本誌「エコなが通信」の配布や省エネの話などを実施。動物にやさしいまなざしを向け、環境への心配りや意識が高い。2012年度、長崎県の「夏の節電コンテスト」でも優勝(9p記事)！携帯電話をあえて持たないという山崎さんは、便利すぎる現代文明に対するささやかなレジスタンス(抵抗)と言う。省エネは、まず自ら、家庭から、そして地域へと発展するよう、日頃考え行動していると語ってくれた。



県南地区推進員(南島原市) 中村 恵子さん

Nakamura Keiko

身近な話題からエコ上手なお話へ

推進員になってから3年。研修会で配布された資料を常に携帯しているという中村さんは、仕事先でも「電気代が高いんだけど・・・」などの話になると、省エネタイプの電化製品の話で盛り上がっている。決して、むずかしい話ではなく、簡単にできる、エアコンと扇風機を併用したり、エアコンの風向きを季節によって変えることなど提案すると「そんなことで変わるの？」と言われるが、試してみた方々から、電気代が安くなったと喜ばれるのがとても嬉しいと言う。



大人にも子どもにも、今できることを提案したい

中村さんは自宅でも様々な場面で楽しく省エネしている。料理の際には、根野菜をレンジでチン。夜はひと部屋で家族団らん。出張から帰ってきた家族には「もったいないから、リビングに集合！」とは言わず、「久しぶりだから家族で話そうよ。」とやさしく誘い出すとのこと。中村さん流エコは人にも環境にもあたたかい。



CO₂ を排出削減、吸収して環境保全！

国内クレジットと オフセット・クレジット制度 (J-VER 制度)

国内クレジットと J-VER 制度ってなに？

CO₂ 排出削減事業者が、省エネルギー設備導入等により削減した CO₂ をクレジット化 (権利化) し、大企業などの共同実施者に売却できる仕組みです。また、カーボン・オフセット (自らの排出量を他の場所の削減量で埋め合わせて相殺すること) の仕組みを使い、削減・吸収量プロジェクトをクレジットとして認証する制度のことです。参考：経済産業省 近畿経済産業局「国内クレジット制度活用ガイドブック」環境省「オフセット・クレジット (J-VER) 制度について」

カンタンに言うと

経済産業省

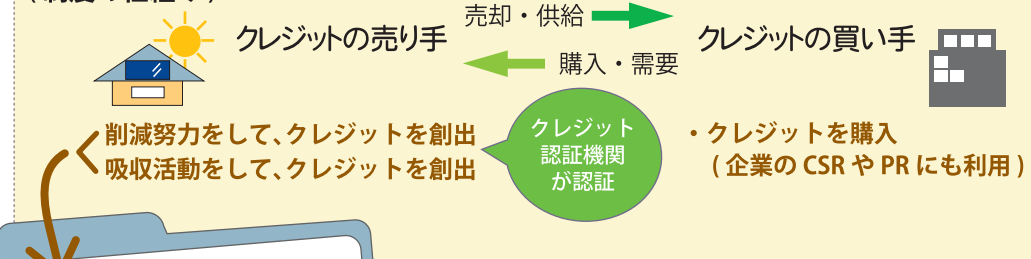
国内クレジット制度

環境省

オフセット・クレジット
制度 (J-VER 制度)

地球温暖化防止対策のために、国が導入した制度です。国内クレジット (経済産業省管轄) と J-VER 制度 (環境省管轄) とともに 2008 年に始まりました。

〈制度の仕組み〉



クレジット創出の方法 CO₂ を削減する活動事例

- ・蛍光灯→LED (大型施設の照明設備更新)
- ・重油→都市ガス (工場のボイラー更新)
- ・重油→木質バイオマス (温泉施設ボイラー更新)
- ・重油→電気 (農場における空調設備の更新)

CO₂ を吸収する活動事例

- ・山林の間伐促進
- ・植樹、森の育成

2013 年度に
2つの制度がひとつに統合されます！



2013 年度より統合され、新しい制度が開始される予定です。使いやすさや利便性が追求されることで、自治体や企業などにおける削減努力や吸収対策が進み、クレジットの取引が活発になることが期待されます。

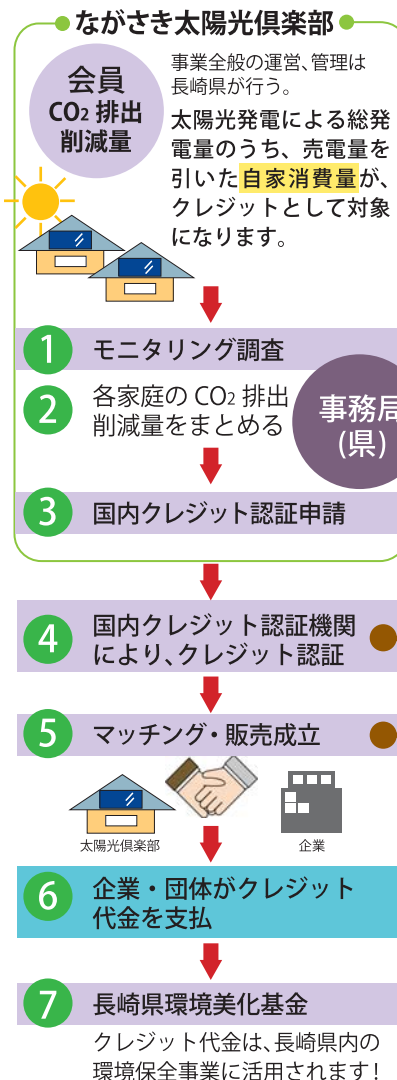
長崎県内の「国内クレジット制度」の事例 ー太陽光で創エネ・創クレジットー



長崎県、太陽光でクレジット創出、売買が成立しました！

長崎県では、県内の太陽光パネル設置家庭が「ながさき太陽光倶楽部」に参加して、県内の環境保全事業に貢献する活動を実施してきました。太陽光でエネルギーを賄う取り組みを行い、CO₂ 排出削減のクレジットとして 752t-CO₂ が認証され、外車販売の株式会社 MATSUFUJI と売買が成立しました。

〈クレジット売買の流れ〉



株式会社 MATSUFUJI がクレジット購入！



▲県庁で実施証書を受ける
松藤章喜社長 (右)

社会貢献活動の中でも、特に環境保全に力を入れている地元企業のカーディーラー、株式会社 MATSUFUJI が 2012 年 12 月、長崎県とクレジット売買に合意！県内初「国内クレジット制度」の利用となりました！

〈クレジット売買の内容〉

長崎県内における
BMW・MINI 車両
走行へのオフセット

県が認証された
クレジットは
752t-CO₂

購入
500t-CO₂ を購入 約 3,625,000km 走行分
(地球約 90 周) にあたる

- 250t-CO₂ BMW 約 167.5 万 km 走行分 (地球約 41 周)
- 250t-CO₂ MINI 約 195 万 km 走行分 (地球約 49 周)

株式会社 MATSUFUJI の環境への取り組みを聞きました！

「車は CO₂ を排出するので、車両はもちろんのこと、生産工場でも環境に配慮している。社会貢献活動の一環として、クレジットがどのように環境保全に活用されるか考慮し、企業の責任を果たしていきたい！社内でも節電への意識が高まるいい機会になった。」と話してくれました。

長崎県内のオフセット・クレジット制度 (J-VER 制度) の事例

長崎県内でのオフセット・クレジット制度 (J-VER 制度) の認証を受けている取り組みがあります。今回は、その事例を 3 つ紹介します。

事例 1 エコドライブで CO₂ 排出削減 長崎国分株式会社

デジタルタコグラフを配送車に設置！

長崎国分株式会社は、食品の卸会社で、その配送時にエコドライブをすることで CO₂ 排出量を削減しクレジット化した国内初「物流分野」の認証事例です。ドライバーは、デジタルタコグラフによる燃費データを毎日チェックでき、その日の運転具合を把握します。100 点満点を目標にすることで、急発進・急加速などのないエコで安全な運転を心がけるようになったそうです。エコドライブの「見える化」は、安全運転が促進され事故が減り、車両保険のコスト削減にも繋がったと言います。

クレジット認証！

クレジット創出量
12t-CO₂

計量期間 (2010.9 ~ 2011.3)
- 未販売 (2013.3 現在) -

売却資金は何に使われるの？

グリーン物流の推進
活動の財源に！



▲長崎市田中町の長崎国分本社



◀デジタルタコグラフ (車載器)
運行時間中の走行速度などの変化をグラフ化することで、その車両の稼働状況を把握できるようにした計器

事例 2 山林の間伐で CO₂ 吸収 対馬市役所

クレジット売却資金で対馬の自然を守る！

対馬市では、2007 年度から 2012 年度に森林整備 (間伐) を実施した市有林 118.54ha 分の吸収量 1206t-CO₂ をクレジットとして登録。その購入第 1 号は、「一般社団法人 沖縄県環境科学センター」で、サンゴ礁保全のための調査船が排出する CO₂ を対馬市役所のクレジットを購入することで、カーボン・オフセットします。対馬市は 1t-CO₂ 当たり 8,000 円で、計 5t-CO₂ 程度を売却し、森林資源の活用などの財源に利用しています。

対馬市が制度を利用する目的

対馬市は、島面積の約 9 割が森林。独自の生態系を守るためにも、豊かな森林資源を活かし、新たな収入源を得るとともに環境保全に力を入れている島としても PR になります。



クレジット創出量
1206t-CO₂

計量期間 (2007 ~ 2012.3)

マッチング成立

5t-CO₂ 程度を売却
-(2013.3 現在)-

売却資金は何に使われるの？

対馬市独自の豊かな
自然環境保護や森林
資源の財源に！

ー長崎県下で企業の積極的なクレジット創出が始まっていますー

事例

3

森、山の育成で CO₂ 吸収 真樹販売株式会社

クレジット認証！



日本の伝統建築を支える森の CO₂ 吸収事業

真樹販売株式会社は、林業を営む森林整備のプロフェッショナル。美しいヒノキを生産し、“柱を見せる木の家”を提案しています。ヒノキも 20 年前に比べると価格が四分の一と下落したため、徐々に山林所有者が木を植えなくなり、さらに違法伐採も増え、山の機能が失われつつあるのが現状だそうです。真樹販売株式会社では、山や森林を育て、CO₂ の吸収量を増やすことでクレジットの創出につなげています。今後、クレジットを購入する企業等とのマッチングが望まれています。



クレジット創出量
2300t-CO₂

計量期間 (2008 ~ 2012)
- 未販売 (2013.3 現在) -

売却資金は何に使われるの？

環境保全、低炭素社会
へ森林の力を活用する
財源に！

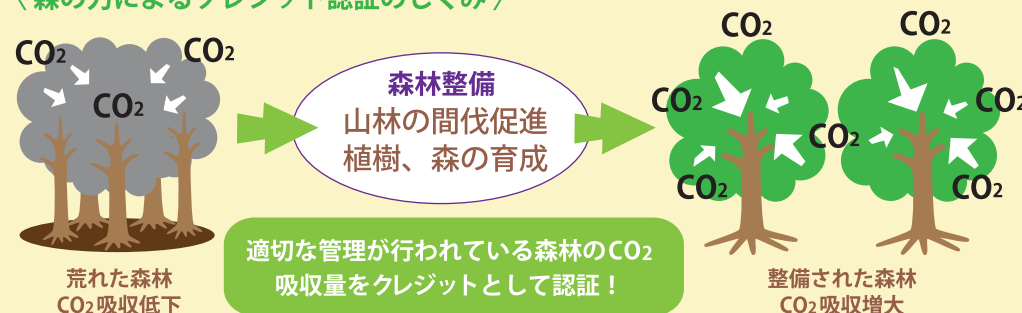


◀日本建築の柱材になる木 (写真左) とは、若木のうちに枝打ちされた、節のない美しいヒノキの材木のこと。

同社が制度を利用する目的

真樹販売株式会社は、長崎市、西海市のヒノキ林を対象地とし、適切な間伐の実施による対象森林の健全性を確保するとともに、CO₂ 吸収量の維持・増加を目的としています。

〈森の力によるクレジット認証のしくみ〉



今どき！省エネ家電の紹介

省エネ家電もずいぶん進化しました。光熱費を抑えて、エコ上手になれる今どきの家電を紹介！

2009 年度のデータ（円グラフ）によると、電気を最も多く使用している家電は、冷蔵庫。エアコンは、2004年度のデータでトップでしたが、機種和省エネ化によるものと考えられます。今回はポイントとなる3つの家電を紹介します。

※参考 2012 年度版 省エネ家電おすすめガイドブック

エアコン

約 **-14%**

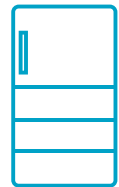


今どきのエアコンは
10 年前に比べると約 14%の省エネ

新しいものは、エネルギー効率が高いヒートポンプ方式やムダな電力消費を抑えるインバーター技術がより進化し、省エネ性能が高くなっている。2011 年型のものは 2001 年型と比較して 14%の削減となった！

冷蔵庫

約 **-65%**

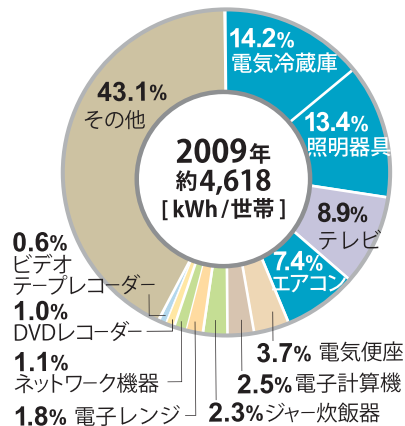


今どきの冷蔵庫は
10 年前に比べると約 65%の省エネ

今どきの大型容量冷蔵庫には、インバーターや真空断熱材などの省エネ技術を搭載。容量が大きくなっても省エネ！

まとめ

消費電力量の少ない省エネ家電を選ぶということは、一人ひとりが意識して、電気を大切にするライフスタイルを選ぶということかもしれないね。



【世帯あたり電気使用量】

※出典 資源エネルギー庁

照明器具

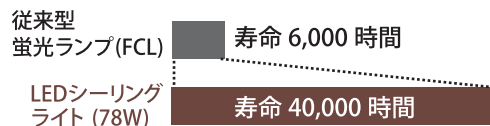
約 **-80%**



LED ランプは、
一般電球と比べると約 80%の省エネ

最新の LED シーリングライトは省エネ、長寿命などに加え、調光、調色など様々な機能がついたものもあります。

ランプ寿命の比較



※従来型ランプに比べて約 6.7 倍の長寿命

※出典 日本照明器具工業会 H P

地産地消のエネルギーを見つめよう！

ながさき省エネコンソーシアム対馬大会の報告

※ながさき省エネコンソーシアムとは、県や NPO で構成された省エネ推進のための団体



2013 年1月18 日対馬市にて「ながさき省エネコンソーシアム inTSUSHIMA」が開催された。財部能成対馬市長はじめそれぞれ専門の環境分野の実践者らが、対馬に眠る資源のエネルギー活用について高校生など約50名の来場者と、事例の発表とパネルディスカッションを通じて共に考えた。



コーディネーター
有限会社 松環舎 代表取締役
渋谷区環境政策アドバイザー
松嶋範行さん



対馬市長
財部能成さん



長崎県地球温暖化防止活動推進センター長
菊森淳文さん



長崎県地球温暖化防止活動推進員
豊田涼子さん



対馬資源開発テクノアドバイザー
阿比留萬通男さん



有限会社つしまエコサービス
岸良広大さん

未利用資源活用が活発化！

対馬市では、森林の未利用木材をチップにして温泉施設や塩製造工場のボイラー燃料に利用している他、廃食油をバイオディーゼル燃料にするなど、未利用資源をエネルギーとして活用する取り組みを積極的に行っており、その事例について紹介があった。パネルディスカッションではパネラーから、「雇用の創出においては、製造したものの出口（売り先）を確保することが大切になってくる」や「関係者すべてに利益が分配される仕掛けが必要」といったビジネスとしての仕組みづくりが議論された。また「エネルギー問題を人任せにせず、自分自身の問題として考え、取り組むことが大事」と、パネラー自身も20年間使った冷蔵庫を省エネ型に買い替え最新家電の省エネ性能を実感しているなどと具体的な話を交えて私たち市民ができることについても議論があった。



未利用木材から作られるチップ

来場者アンケート

●「森林の中に放置されている間伐材の様子 やバイオディーゼルの事も短い時間だが分かった。漂着ゴミの発泡スチロールを油に変えることで、ゴミを宝にすることも知れてよかった。」(50 代女性)

●「対馬には雇用が少ないけど、人材が必要だと知って自分も対馬に貢献したいと思った。」

(10 代男性)

まとめ

対馬に限らず、足元にある自然エネルギーの活用にますます注目が高まっています。私たち自身もできることから省エネや創エネに取り組むことが大切ですね。



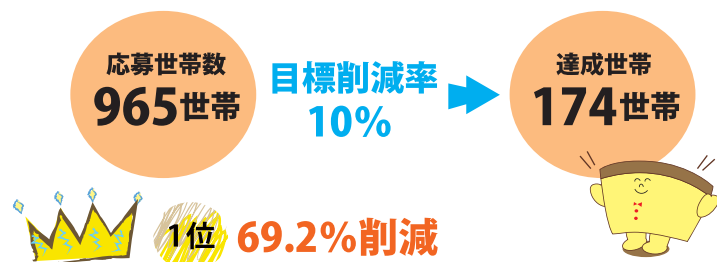
平成 24 年度夏のながさき節電コンテスト コンテスト結果報告

2012年の夏、7月～9月の電気使用量を対象に、昨年比で節電を競い合うコンテストを開催致しました。下の写真は、今年1月に開催された表彰式の様子です。また、入賞された方々へは、賞品（いも焼酎、牛肉、うどん、蒲鉾などの県品産）をお送りいたしました。



▲表彰された皆さん 左から山崎さん、古田さん、一ノ瀬さん（月川さん代理）、田中さん（五島市代表）

個人上位入賞者の削減率		
順位	削減率	エリア
1位	69.2%	平戸市
2位	49.9%	長崎市
3位	49.8%	佐世保市
4位	47.0%	長崎市
5位	46.2%	佐世保市
6位	44.4%	長崎市
7位	44.2%	長崎市
8位	43.9%	壱岐市
9位	41.9%	佐世保市
10位	41.9%	上五島町



個人削減率 1位に輝いた山崎省三さん

今号の「推進員」のコーナー（2P）にも登場している山崎さん。驚異的な削減率の極意を聞くと、「クーラーやドライヤーなどの電化製品をなるべく使用しない、冷蔵庫以外のコンセントは抜く、テレビはほとんど見ない。」とのことだった。こまめに電気を使わないことを意識した生活スタイルが成功の秘訣のようです。

市町部門
総削減量

1位 **五島市 (35世帯)**
合計 **3,469kWh** 削減しました！

市町部門
削減率

1位 **平戸市 (5世帯)**
28.7% 削減率で優勝！

基調講演「省エネライフはカシコイ生活」 講師 宮原美智子氏

表彰式では、環境カウンセラーや省エネ普及指導員でもある宮原美智子さんに熊本県からお越しいただき、省エネ実践者ならではの説得力あるアドバイスをいただきましたので紹介します。



▲講演中の宮原 美智子さん

継続は力！ 宮原先生に学ぶ「続けるポイント5つ」

- ポイント 1. **出来ることから無理なく、楽しく**
…楽しい！は続けるポイントだね♪
- ポイント 2. **目標を持つ**
…来月は今月より減らす、お父さんを巻き込む。自分に合った目標つくってみては？
- ポイント 3. **記録一チェックする**
…電気やガスの利用量の見える化は重要だね。
- ポイント 4. **仲間と励ましあう**
…一人ですより、みんなで比べるのもいい！
- ポイント 5. **なぜ実践するのか、想いをもつ**
…地球のため、節約のため、孫のため、想いはいろいろでOK！

上位入賞者の方に節電成功の秘訣を聞きました！

いろいろな対策を講じて、節電に成功された皆さんに、その秘訣をお尋ねしました。楽しく節電されているようですが、とくに「節約できたお金で、外食することを決めていた。」「毎日、電気メーターを確認して、節電していれば家族で喜びを分かち合えた」など参考にしたいですね！

私はこれで節電！ ベスト3

- 1位 **電燈対策**
LEDに変更／こまめに消す…など
- 2位 **エアコン対策**
扇風機の併用／アイスノンへの代替／家族がひと部屋に集まる…など
- 3位 **テレビ対策**
意識的に番組を選択／つけっぱなしに注意／省エネモードに変更…など

電気ポットから保温ポットへ変更した。冷蔵庫内の詰め込み過ぎに注意した。

トイレに便座シートをつけて、保温をやめた。

その他の節約術

クールシェアを実践。屋間の暑いときに図書館などで過ごした。

省エネ家電に買い替えた。

早寝早起きの生活を心がけることが節電生活につながった。



昨年はとても暑い夏でした。そんな中、節電へのご協力ありがとうございました。残念ながら削減できなかった世帯もありましたが、これからも、一人ひとりの生活への意識を高め、温暖化防止の努力を楽しみながらしていきましょう！